

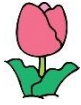
日常生活の状況



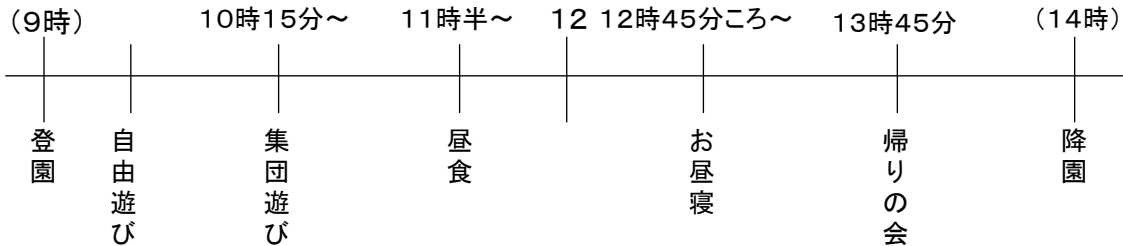
生活リズム



おおよその日課を書きましょう。
生活のリズムが安定していない場合は、空いているところにそのことを書いておきましょう。



平日(おおよその日課) 登園時間: 9時00分 ~ 14時00分



昼寝

関係機関内で昼寝の時間があれば「あり」に☑します。昼寝の時間がなければ「なし」に☑しますが、個別に昼寝が必要な場合は『気になること』に書きます。

昼寝の様子を書きます。昼寝をする場合は「する」に☑し、おおよその時間を書きます。昼寝をすることが難しい場合は「しない」に☑します。

- ◆関係機関内での昼寝の時間 あり() 12時45分~13時30分 なし
- ◆昼寝 する(だいたい 12時30分~13時15分ころ) しない
- ◆寝つき いいほう ふつう 悪いほう
- ◆目覚め いいほう ふつう 悪いほう
- ◆寝るときの癖 なし あり(添い寝が必ず必要です。)
- ◆気になること 特になし

あてはまるものに☑していきます。何か特記事項があれば、空いているスペースや『気になること』に書きます。

就寝時、寝付きやすい方法や安心するための持ち物、光の加減、好みのシーツや布団の柄など、何かあれば、書きます。

食事

- ◆食事の形態 母乳 ミルク 離乳食(初期・中期・後期) 流動食 きざみ食 一口大 普通食 その他()
- ◆自分で使える道具
 - 食べ物 手づかみ スプーン フォーク おはし その他()
 - 飲み物 ほ乳瓶 コップ ストロー その他()
- ◆介助 全面介助(食べさせる) 少し手伝う 自分で食べる その他()

鼻注や経管栄養などの場合はここに書きます。

自分で食べ物をフォークにさすことができないので、様子: 一口大にしてフォークにさしてください。

食べているときの様子や気になること、介助する内容を書いてください。

- ◆園外での食事の様子(準備するものなど)
姿勢保持が弱く、地べたに座り続けることが苦手です。折りたたみ用の背もたれイスを持って行きます。

園外で食事をする際に持っていくと便利なもの、配慮する点などを書きます。



排泄

あてはまるものに☑していきます。
何か特記事項があれば、空いている
スペースや『様子』に書きます。

◆排尿			
通常	<input type="checkbox"/> おむつ <input checked="" type="checkbox"/> オマル <input type="checkbox"/> 和式 <input type="checkbox"/> 洋式 <input type="checkbox"/> その他()	通常	<input type="checkbox"/> おむつ <input checked="" type="checkbox"/> オマル <input type="checkbox"/> 和式 <input type="checkbox"/> 洋式 <input type="checkbox"/> その他()
外出先	<input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> オマル <input type="checkbox"/> 和式 <input checked="" type="checkbox"/> 洋式 <input type="checkbox"/> その他()	外出先	<input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> オマル <input type="checkbox"/> 和式 <input checked="" type="checkbox"/> 洋式 <input type="checkbox"/> その他()
予告	<input type="checkbox"/> 自分で予告する <input checked="" type="checkbox"/> 誘ってほしい 誘い方(絵カードを見せて「トイレに行こう」と言う。)	予告	<input type="checkbox"/> 自分で予告する <input checked="" type="checkbox"/> 誘ってほしい 誘い方(絵カードを見せて「トイレに行こう」と言う。)
リズム()	3~4時間ごとくらい。	リズム()	朝ごはんを食べてから出ることが多い。
介助	<input type="checkbox"/> 一人ができる <input checked="" type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 手伝ってほしい <input type="checkbox"/> 全面介助	介助	<input type="checkbox"/> 一人ができる <input checked="" type="checkbox"/> 見守りが必要 <input type="checkbox"/> 手伝ってほしい <input type="checkbox"/> 全面介助

排便は園ではほとんどしません。一度オマルで試みましたが泣いてしまいました。園ではみんながし終わってから行きます。友達がいると安心しないののでできません。一人で用をたします。園外保育の様子: ときはトイレに入れず、我慢していたようでした。

衣服の着脱

◆着 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助
汚れるのを嫌い、ぬれたりするとすぐに着替えたがります。
様子: ほとんど介助しますが、自分で手や足は出してくれます。

◆脱 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助
ある程度まで脱がせると、自分で脱ぐことができます。
様子: ボタンやファスナーははずしてあげます。

◆その他、気になること(衣服のこだわりなど)
服を着る順番が決まっているようです。(靴下→ズボン→上着)
上記のように感覚過敏があるのか、汚れが気になると着替えたがります。
また、自分の洋服以外は受け付けず、一度、着替えがなくて園用を着せようとしたのですが、嫌がって着ませんでした。

衣服などや着脱時に配慮していることを書きます。

衛生面

◆洗面・歯磨き
洗面 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助
歯磨き 一人ができる 見守りが必要 手伝ってほしい 全面介助
歯磨きは嫌がっていましたが、家で使っている絵カードを見せて、歌を歌うと少しずつできるように
様子: なってきました。『ガラガラうがい』や、『くちゅくちゅぺっ』がうまくできずに飲みこんでしまいます。

◆その他の衛生面(洗面・手洗い)で配慮することや気になること

移動 (手段)

様子をお書きください。

- ◆室内: 歩いて移動します。まわりを見ていないことも多く危険なときもあります。
- ◆戸外: 歩いて移動しますが、必ず大人が手をつなぐようにしています。
- ◆移動時に気をつけていること
発作が多くなってきているので、家族と相談し、園生活では、ヘッドギアをつけるようにしました。

日常生活での支援の状況と今後の課題

支援していること(目標としていること)や今後の課題と思われることを書きます。
課題については、できないことのみではなく、本人の豊かな乳幼児生活に向けて、
つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。



遊び・運動・感覚・興味・関心



遊び・運動

様子や気になる点をお書きください。

◆お気に入りの遊び、運動器具、おもちゃ

園庭のブランコが大好きです。室内ではミニフードが好きでいつもお気に入りを持ち歩いています。帰りの会の歌が好きで、その歌を歌うと喜びます。

◆苦手な遊び、運動器具、おもちゃ

音の鳴るおもちゃがあり、その音が鳴るとびくっとしてしばらく動けません。園庭のお山に登ることを嫌がります。

◆配慮することや気になること

初めての遊びや活動のときは不安な様子で、なかなか体験できません。個別に声をかけて誘いますが、できないことが多いです。2~3回様子をうかがうとチャレンジできるようにはなってきました。

感覚

感覚は本人にしか、快・不快がわからないものです。過剰に反応したり、逆に鈍感だったりするような感覚はないか、書いてみましょう。

◆好きな感覚・落ち着く感覚

音: ガーゼタオル。におい: 髪の毛のにおいをかぎたがる。触られること: ぎゅうっと強く抱くと落ち着くようです。何回も「して」と要求します。

その他:

◆苦手な感覚・苦手なもの・苦手な場所

音: サイレンの音 感触: ぬれた感触や汚れたとき。におい: 触られること: 急に本人に触れたりすると怒ります。

怖がる場所: 暗いところ 騒がしい場所 落ちつかない場所: 人が多く、いつもと違う雰囲気や活動のとき。

その他:

興味・関心

◆興味・関心のあること

最近の様子や少しずつ興味を持ち始めたことを書きましょう。

文字への関心

まだ興味はないようです。

かずへの関心

1～10までの数唱はできるようになってきました。
理解は3個までのようです。

集団への関心

友達が好きで、会話は少ないですが、一緒に遊ぶことも多くなりました。

遊び・運動・感覚・興味・関心についての支援状況と今後の課題

支援していること(目標としていること)や今後の課題と思われることを書きます。
課題については、できないことのみではなく、本人の豊かな乳幼児生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。



コミュニケーションの状況



表

本人から他者への表出の仕方を書きます。
当てはまるものに☑し、特記事項がある場合は、余白や『様子』に書きます。

コミュニケーションは、本人の意思を確認したり、状況を伝えたりなど安心して生活するために必要なものです。
できるだけ具体的に書きましょう。

◆表出の様子 声話なし 単語 二～三語文は話せる 会話ができる その他

ことばも出てきましたが、何かあると保育者の手をひっぱったり、指差しなどで伝えます。
様子: まねが増えました。

◆ほしいものがあるとき

伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
 伝えられない その他

語彙は少ないですが、クレーンや指差しなどで伝えることができます。
様子: とときどき、担任以外の先生だと、わかりにくいときがあるようです。

◆何かやってほしいとき

伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
 伝えられない その他

ほしいものは指差しなどで示してくれるのでわかりやすいですが、やってほしいことは、語彙がまだ未熟なため、本人が何を言っているかわかりにくいときがあります。
様子: 特に担任以外の先生だとわかりにくいようです。

◆カードなど使っているもの なし あり

◆カードの内容や使い方

おもちゃや遊びの写真や絵カードを作って、壁においておくようにしました。
本人がしたいときに選んで担任に渡すとその遊びができるようにしていますが、
様子: まだその関連性がわからず、うまく使っていません。

◆困ったときに援助を求める

- 伝えることができる 伝えようとするがわかりにくい 自分からは言えないが聞くと伝える
伝えられない その他

泣いたり、ぐずったりすることで本人が困っているかどうかはわかりますが、
 様子：本人からは伝えることができません。

◆その他、配慮することや気になること



理解の仕方



本人へ伝えるときの表現の仕方を書きます。
 当てはまるものに☑し、特記事項がある場合は、
 余白や『配慮事項』に書きます。

◆伝わりやすい方法

- 絵カード 写真 ジェスチャー 文字 具体物など その他

様子・やり方： _____

◆わかりやすい声のかけ方(配慮事項)

日常でよく伝えること(ごはん、トイレ、お出かけなど)は、絵カードや写真カードを使っています。
 実物を見せることもあり、ことばで言うだけでなく、見てもわかるように伝えと、伝わりやすいです。

◆その他、配慮することや気になること

「もうおしまい」「これはお友達のだよ」と時間や持ち物などを知らせるとき、
 ことばでは伝わりづらく、方法を模索しています。

人との関係

◆好きな人のタイプ： 若い女の人、おとなしめの女の子。

◆苦手な人のタイプ： 白衣や作業着を着た男の人。めがねをかけた人も嫌なようです。

◆その他(人の多さや支援者が変わった場合の対応、家族、友達との関係など)

クラスのお友達には慣れてきました。
 参観日など、いつもと違う様子が嫌なのか、人の多さが嫌なのか、不安で落ち着きません。
 他のクラスとの合同の活動も嫌がります。
 友達がたくさんいる中に入るのが苦手ですが、朝一番に登園できると調子がいいです。

コミュニケーションについての支援の状況と今後の課題

支援していること(目標としていること)や今後の課題と思われることを書きます。
 課題については、できないことのみではなく、本人の豊かな乳幼児生活に向けて、
 つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。

集団生活・社会参加



(集団生活 あり なし)

集団への関心・参加

- ◆同年代(友だち)とのかかわり なし あり

同年代との子どもともかかわりに不安があったり、極端に積極性がない場合は「ない」にし、その様子を書きます。

様子:

- ◆集団生活での状況やそれに対する本人の思い

園生活のなかでの集団遊びや活動について書きます。

- ① はじめは一人や保育者と遊ぶことも多かったが、最近は友達に関心をしめし、一緒に遊ぼうとする。子ども同士では言いたいことがなかなか伝わらず、トラブルになることもあるので、大人が見守り、仲介することでうまくやりとりできる。
- ② 友達と遊びたい気持ちはあるが、ルールが理解できず、マイペースになりやすいためトラブルになることが多い。

自己選択、決定

- ◆2つまたは複数のものからの選択 できる

できるようになってきたものにし、様子を書きます。

仕方: 実物や写真、絵カードをみせて「どっち?」と聞くと選ぶことができる。

- ◆日課やスケジュールにしたがっての行動 できる

仕方: 園の流れが表示してあるボードを保育者と一緒に見て確認している。

- ◆状況や状態、興味に応じた自分の行動 できる

仕方:

- ◆身近に起こった新しい事態への適切な対応 できる

仕方:

- ◆必要な援助を求めること できる

仕方:

- ◆自己主張や自己弁護 できる

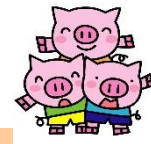
仕方:

集団生活・社会参加への支援内容と今後の課題

支援していること(目標としていること)や今後の課題と思われることを書きます。課題については、できないことのみではなく、本人の豊かな乳幼児生活に向けて、つけてほしい力や可能性について書くようにしましょう。

理解や支援を必要とする行動

(あり なし)



問題となる行動

- ①自傷 ②他傷 ③こだわり ④器物破損 ⑤睡眠の乱れ ⑥多動 ⑦不注意
 ⑧パニック・精神的不安定 ⑨感覚の過敏さ・鈍感さ ⑩かん黙 ⑪ひとりごと ⑫常同行動 ⑬その他

番号と具体的内容	きっかけや対処法、その他注意する点など
<p>該当する番号と内容を 書きます。</p>	<p>支援がうまくいってなくても、 何か行っていれば書きましょう。</p>
<p>③こだわり 何かと順番、順序にこだわります。 衣服の着脱や食べる順番など。</p>	<p>対処法は特になく、本人のこだわりを理解するようにしています。</p>
<p>⑨感覚の過敏さ・鈍感さ</p>	<p>乳幼児編(関係機関)P3を参照。 *参照するページがあれば、そのページを記入します。</p>
<p>⑩かん黙 家ではよく話すようですが、園ではほとんど話し ません。ジェスチャーか動作がほとんどで、声が出 ません。</p>	<p>原因がわからず、どのようにかかるとよいかわからないので、保護 者と相談して、専門機関に相談するようになっています。(〇月〇日発 達相談予定)</p>
<p>⑬その他 時々、「きー」と奇声を発します。 原因はよくわかりません。</p>	<p>原因がよくわからないので、奇声を発したときの様子やその前後に何 があったかを記録して、家族と話し合っています。</p>
<p>該当する行動などはなくても、気に なることがあれば、「⑬その他」と して書いておきます。</p>	<p>相談しているところがあり、 取り組んでいることがあれ ば、書いておきましょう。</p>

安全・事故防止の留意点



- ◆緊急時に配慮すること なし あり

内容

避難訓練などは前もって知らせることで、だいぶ慣れてきました。
訓練ではなく災害時にはパニックになることも想定されるので、災害時の対応を園内で取り決めています。

緊急時に気をつけること、園内での支援体制として取り決めていることがあれば書きましょう。

- ◆個別的に配慮すること なし あり

内容

発作を起こすことが多くなっているため、発作の様子や発作のときの対処方法を書いたものを保護者の了解を受けて、職員全員に配布している。

日常で気をつけることを書きましょう。

家庭との連携

内容

保護者との連絡方法や、懇談など、家庭との連携内容を書きます。

学期末に定期的な懇談を行っている。
個別の連絡帳を作成し、毎日担任が園の様子を書いて伝えている。
本児のクラスにおいて、専門機関のコンサルテーションを受け、保護者にも本児に関する助言をいただいた場合は、その内容をお知らせするようにしている。
相談機関での発達相談は、保護者の了解を受けて同席し、その後の結果も報告書でいただいている。

